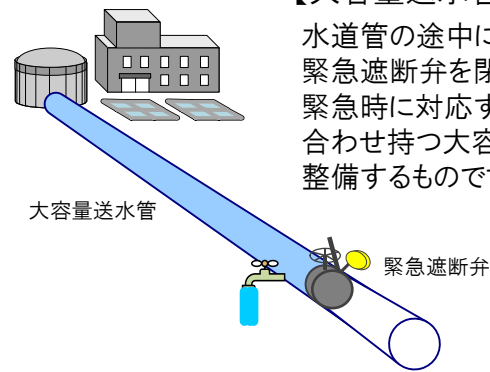


## 大容量送水管は、どんなものなの？

■大容量送水管は、緊急時に対応するための貯留機能を合わせ持つ水道管です。

### 【大容量送水管のイメージ】

水道管の途中に設けられた緊急遮断弁を閉じることで、緊急時に対応するための貯留機能を合わせ持つ大容量の送水管を整備するものです。



## なぜ、大容量送水管が必要なの？

■東日本大震災では改めて水道水の重要性が認識されました。緊急時には、少しでも多く応急給水用の水を確保し、また身近な場所に応急給水施設を整備するなど、ライフライン機能を強化することが必要です。

■県営水道の水道管の多くは、建設から約40年以上が経過して老朽化が進行し、漏水が多発しています。また、一部の古い水道管は耐震性がなく、大規模地震発生時には漏水被害の発生が懸念されており、対策が必要です。



平成6年1月に瑞浪市内で発生した送水管破断事故では最大3日間断水



東日本大震災の被災地で、応急給水に長い列を作る人々

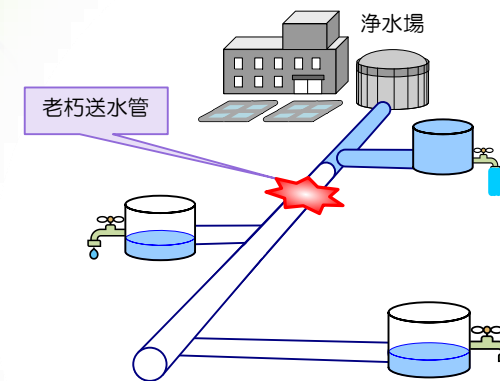


## 大容量送水管を整備すると、どんな効果があるの？

■大規模地震発生時には、大容量送水管内に貯留した水道水を使うことで、地震発生直後から住民の皆様のお身近な場所で、応急給水が可能となります。

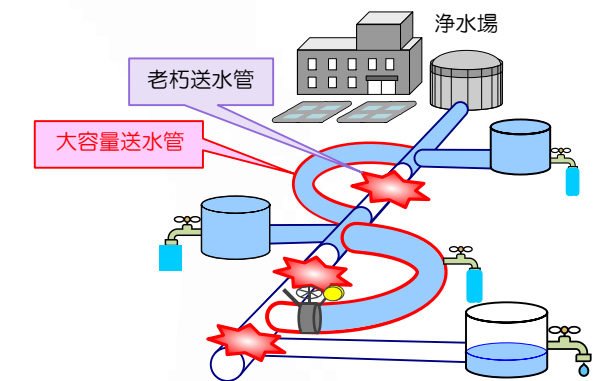
■老朽化した水道管が漏水した時も、大容量送水管を使って水道水を送り続けることができます。

### 【大容量送水管 整備前】



○ 老朽送水管が漏水すると下流は全て断水

### 【大容量送水管 整備後】



○ 大容量送水管に水道水を貯え応急給水  
○ 大容量送水管を使い漏水箇所を迂回して送水  
○ 老朽送水管の内面から補修